

2018年度  
国語科コース別学習説明会

2017年12月9日  
(2018年9月26日改)

1. 国語科コース別学習について
2. 学校によるクラス分け実施
3. 小学部6年生のコース別学習実施
4. 質疑応答

# 国語科コース別学習について

-背景、課題、展望-

ワシントン日本語学校

管理運営委員会

教育人事部長： 戸田一郎

**2017/11/18 教育講演会  
より**

# 国語科コース別学習の背景と趣旨

## 国語科コース別学習の背景

- 近年、生徒の学習目的や生活する言語環境が多様化する中で、生徒の実態に対応した柔軟で最大効果が挙げられる教育の在り方が求められている。
- コース別学習導入前で小学三年生と四年生での進級率が落ち込んでいた。

## 国語科コース別学習の趣旨

- 国語を二つのコースに分け、生徒の日本語力を考慮した授業を展開することにより、学習意欲と習得度を向上させることを目的とする。特に生徒間の学び方の違いに焦点を置く。
- 補習校としての制度に鑑み、両コースで使用する教科書、副教材は同じで、文部科学省が定めた学習指導要領に準じた指導を実施。Aコースでは補助教員がサポート。
- 生徒の学習目的や家庭学習環境、日本語力などに応じて主に生徒、保護者の希望をもとにクラス分けを実施。学年中、毎に調整されることがある。

# 国語科コース別学習の特徴

## 国語科Aコースの特徴

- 物語や説明文を読んで各自の感想が導き出せるよう、内容把握に重点を置く。
- 場面の様子や登場人物の気持ち(物語)、段落の中心(説明文)について、クラス全体で話し合った後にワークシートに記入する。
- 生徒の「書く」ことに対する抵抗感を軽減できるように、イラスト、吹き出し(物語)、段落の関係を示す矢印、ヒントとなる言葉(説明文)等、工夫したワークシートを使用する。
- 「書く」ことが中心となる単元では、組み立てを例文等で明示し、「中」の自分の意見、考え、伝えたいことが書き表せることに力を入れる。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質」に関する単元では、クイズ形式で生徒の関心を高めた上で、国語辞典や漢和辞典で調べる活動を行う。
- 生徒の実態に合わせ、ルビ付デジタル教材を使用したり、ワークシート、パワーポイントにルビを振ったりする。

# 国語科コース別学習の内容と導入

## 国語科コース別学習の内容

Aコース	Bコース
しっかりとした国語力を養うことを目指している。	日本の小学校と同等の国語力を目指している。
指導目標達成を目指して、工夫が取り入れられている。	指導書に沿い、教科書に掲載された学習活動を行う。

## 国語科コース別学習の導入

年度	実施内容
2014年度二、三学期	S校(当時)三年生(2クラス、児童数約40名)で試験的に実施。
2015年度二、三学期	SR校に統合後、三、四年生の全クラス(4クラスずつ、同160名)で実施。
2016年度一～三学期	三、四、五年生の全クラス(12クラス、同239名)で実施。(三年生のみ2学期からの実施。)
2017年度一～三学期	三、四、五年生の全クラス(13クラス、同250名)で実施。六年生は当初の予定どおり同一クラスに戻す。

2016年1月、国語科コース別学習の経過をモニターしながら、その内容や成果を客観的に吟味するとともに、国語科コース別学習のありかたを考え、提議するための「国語科コース別小員会」を設立。これまでに10回の会合を実施。

# 国語科コース別学習の特徴

- 4年生Aコースワークシート例「ごんぎつね」

③「ごんぎつねごんは兵へい十じゅうになぜ何なん度も何なん度もくりや松まつたけきもって  
らんのでしょね。」



【ごんぎつねごんぎつね】

①月のいいばんぶらぶら遊あそびに行ったごんはだれに出で会あい  
ましたか？

( ) (と) ( ) ( )

# 国語科コース別学習の特徴

- 4年生Aコースワークシートの例「自分の考えを伝えるには」

終わりの 自分の 考え		初め 自分の 考え
-------------------	--	-----------------

自分の考えをつたえるには

四年組

わたし・ぼくは、学級全員で遊ぶなら、（ ）  
 がいいと思います。その理由は、（ ）  
 一つ目は、（ ）  
 からです。  
 からです。  
 三つ目は、  
 からです。  
 このような理由から、



# 国語科コース別学習の成果と課題

## 国語科コース別学習の成果

- 多くの生徒、保護者がコース別学習が生徒に適しており、モチベーションも高まったと肯定的に評価。生徒の語彙も豊富になったと感じている(アンケート結果により)。
- 先生方からは、課題や発表等への取り組みに見られる生徒の積極性や表現力の面でもポジティブな結果が出ていると推察。生徒の意欲向上は国語だけでなく他の教科でも見られる。
- 小学三年生と四年生での退学者が減少。

## 国語科コース別学習の課題

- クラス分けを保護者の希望をもとに実施した結果、Bコースの生徒間でも国語力にばらつきがみられ、クラス編成が困難な場合もある。
- Aコースは普通のカリキュラムではないため先生の負担が大きい。また、宿題や漢字の練習等、家庭での学習が十分に行われていないと思われるような家庭も見られる。
- コース別学習が実際の国語力の向上にどれほど効果があったか、客観的な測定が難しい。

# 国語科コース別学習の今後の展望

## 国語科コース別の今後の展望

- 国語科コース別学習を6年生でも継続
- 生徒・保護者の意向を確認した上で学校によるクラス分け
- 家庭での学習(宿題、漢字、音読等)と保護者のサポートの重要性
- 教師間での教材や知識の共有化・データベース化
- 国語力の習熟度を客観的、定量的に測るための試み(学力テスト等)の検討

→ 今後さらに生徒の学習目標や家庭の日本語環境の多様化が進むと考えられる中で、どのような教育が求められ、目指されるべきなのかについて、他校の例等も参考にし、引き続き検討していくことが求められている。

# 学校によるクラス分け実施の理由

小5保護者へのアンケート結果から

各コースの児童の日本語力にばらつきがみられる

→個々にとって適切なコースに入っていない児童がいる

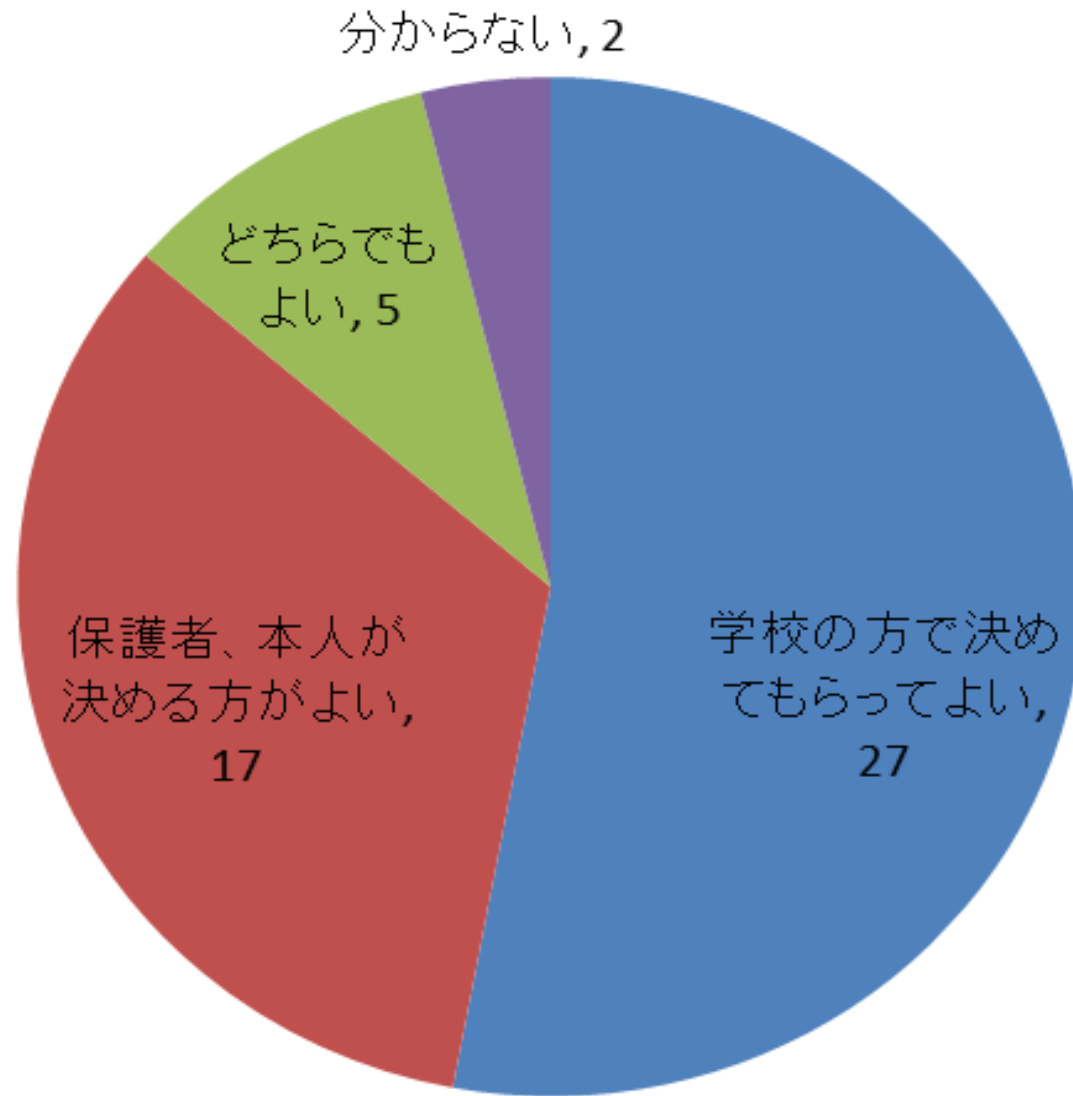
→教師にとって指導が難しくなっている

→クラス編成が困難になる

授業等を通して教師が児童の日本語力を適切に把握する

# コース決めについて(小5保護者アンケート)

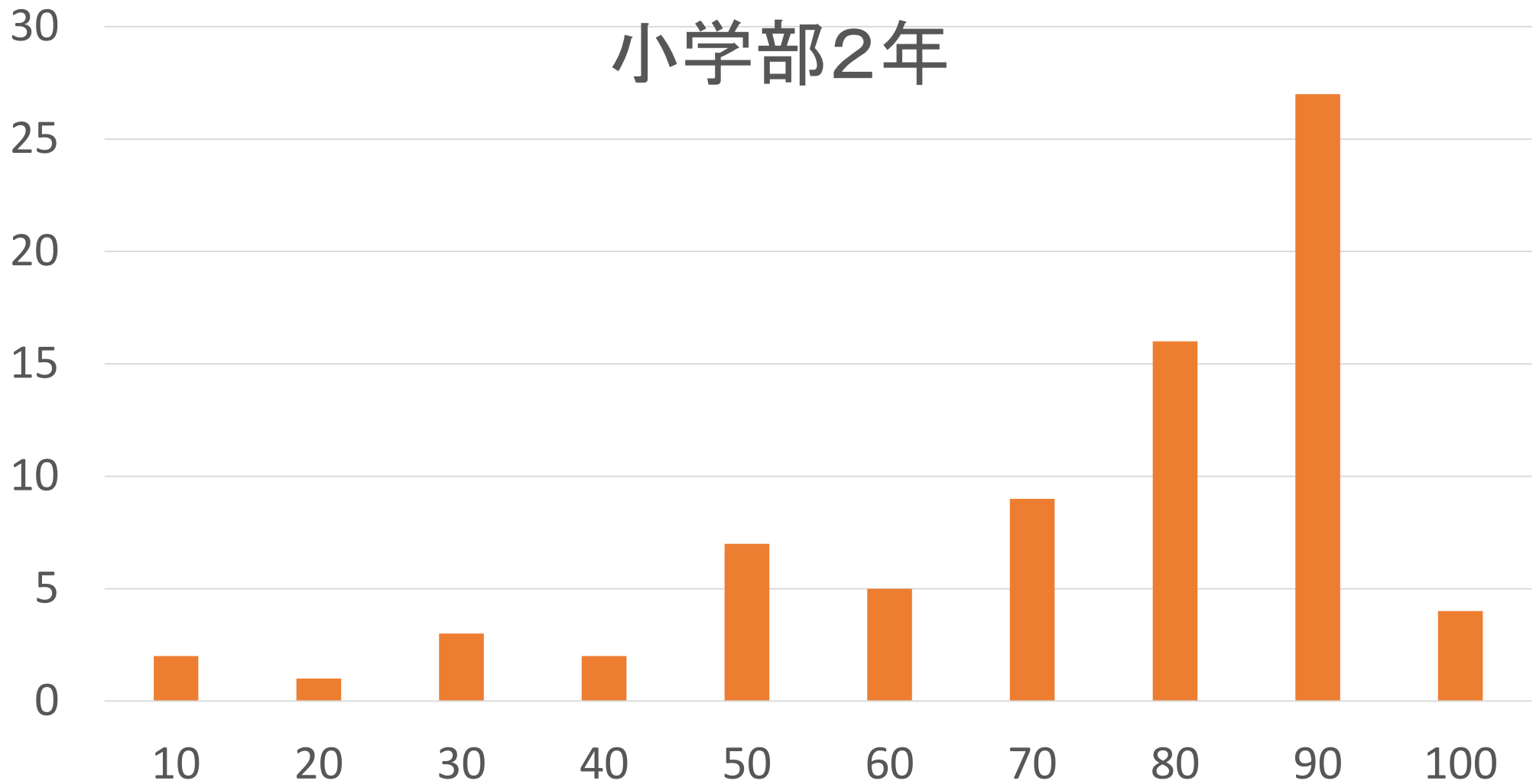
**学校、どちらでも  
62.8%**



# 各学年のテスト素点と分布

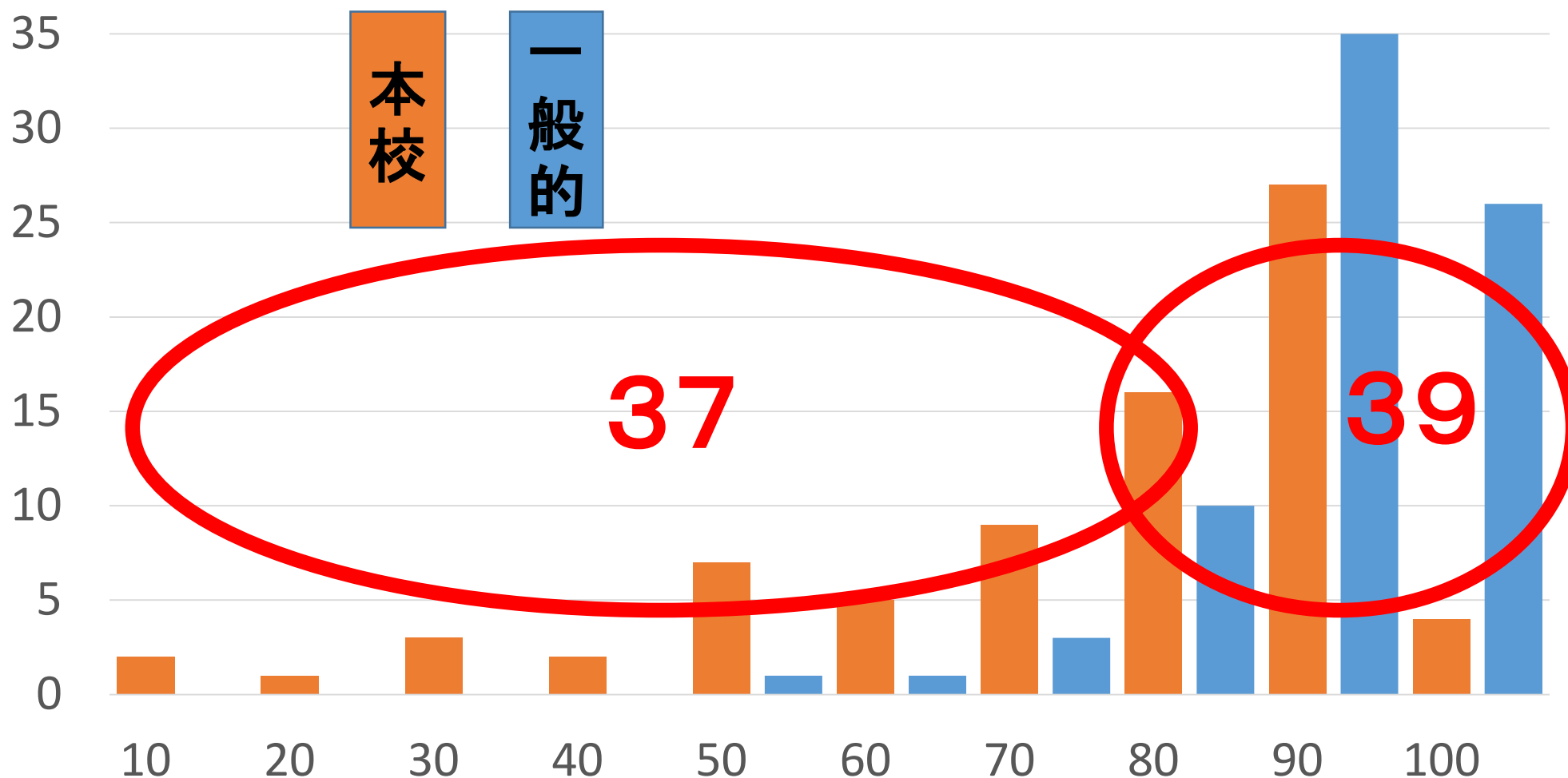
- 児童の国語力を把握するため、単元テストの結果（回数は学年によって異なる）をグラフにした。（オレンジ）
- 読解50、言語50（漢字25、言葉25）の100点換算でグラフにした。（オレンジ）
- 日本の各学年のテスト素点と想定される分布をグラフにした。（ブルー）

# 各学年国語テスト素点分布



# 各学年国語テスト素点分布比較

## 2年生テスト結果分布比較



新3年生80名として、Aコースに26名、Bコースに54名希望した場合

Aコース  
2クラス

Aコース① 13名	Aコース② 13名
--------------	--------------

Bコース  
2クラス

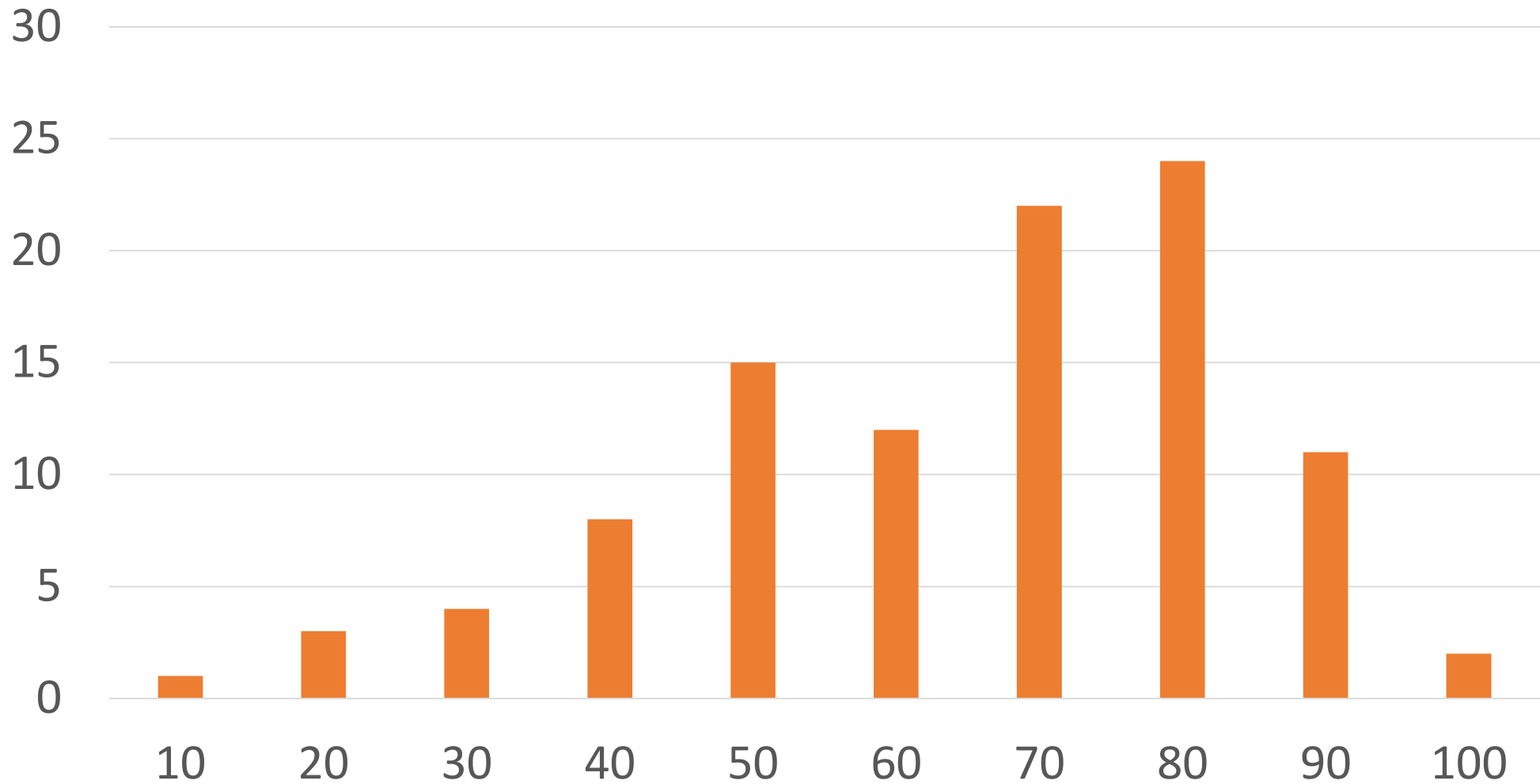
Bコース① 25名	Bコース① 25名
--------------	--------------

- ※ Bコース希望の4名はBコースに入れない。  
4名はAコースに入る？ 誰が入る？
- ※ AコースとBコースの人数の差が大きすぎる。  
Bコースの児童と先生への負担大。



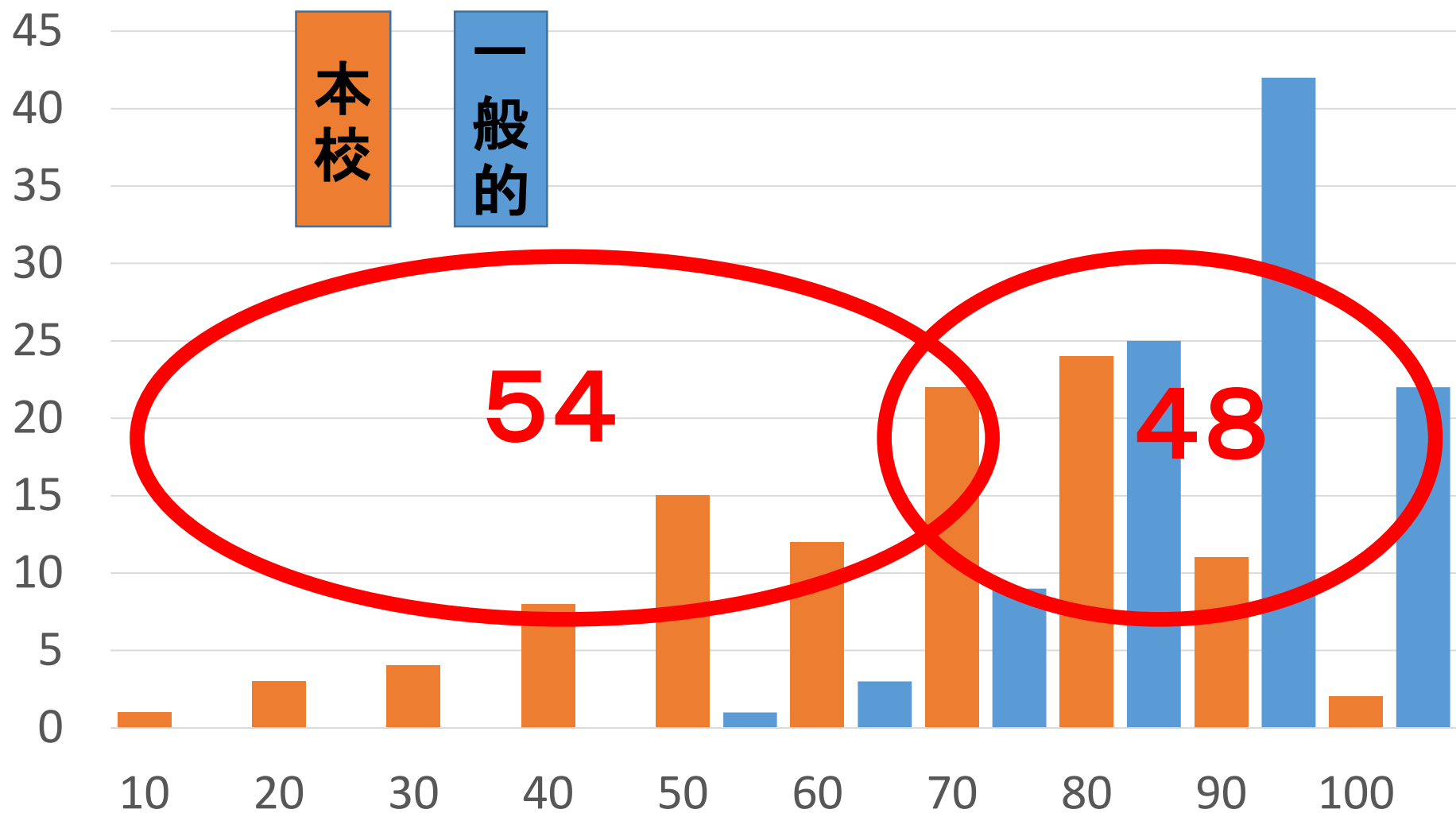
# 各学年国語テスト素点分布

## 小学部3年



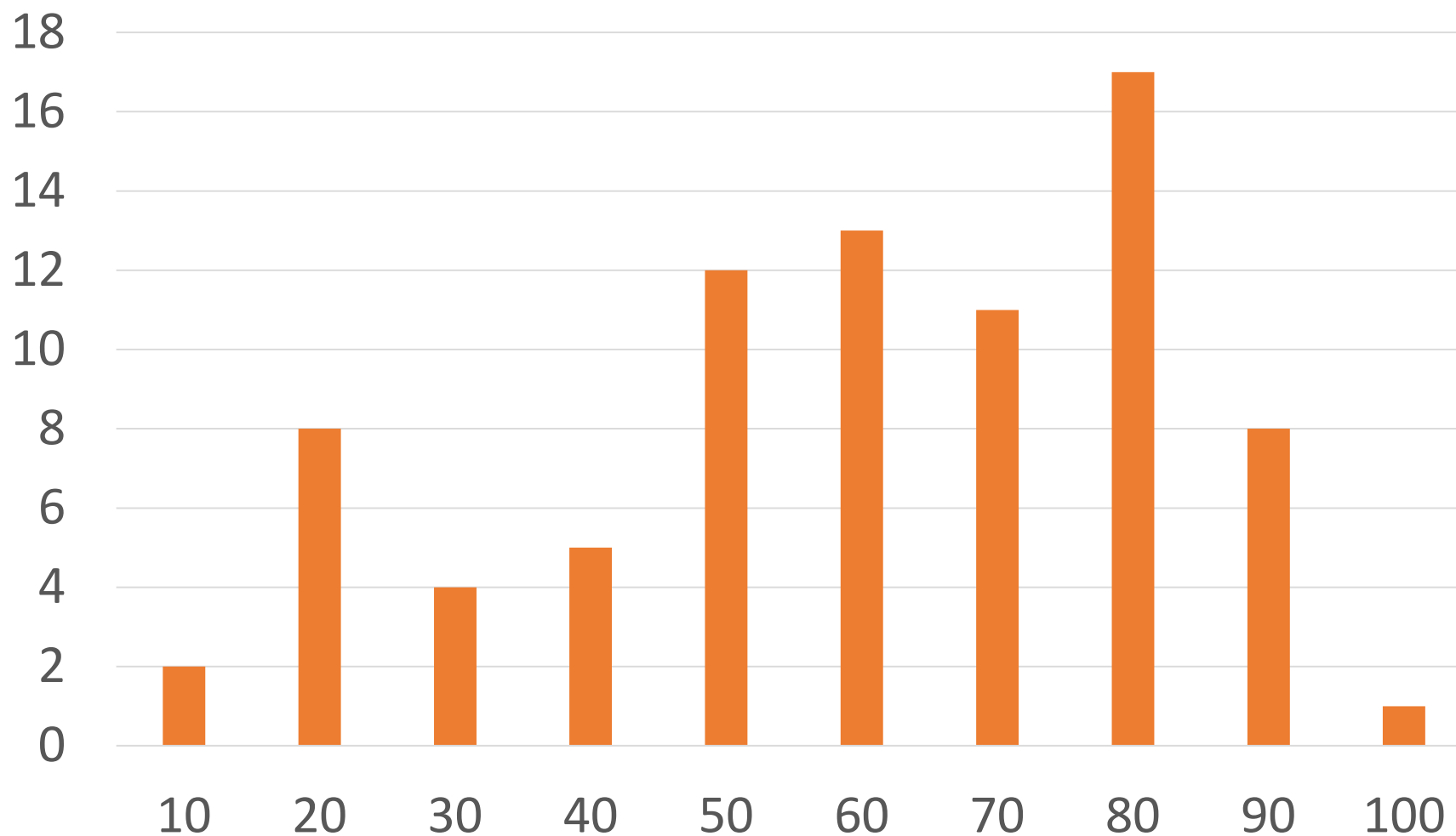
# 各学年国語テスト素点分布

## 3年生テスト結果分布比較



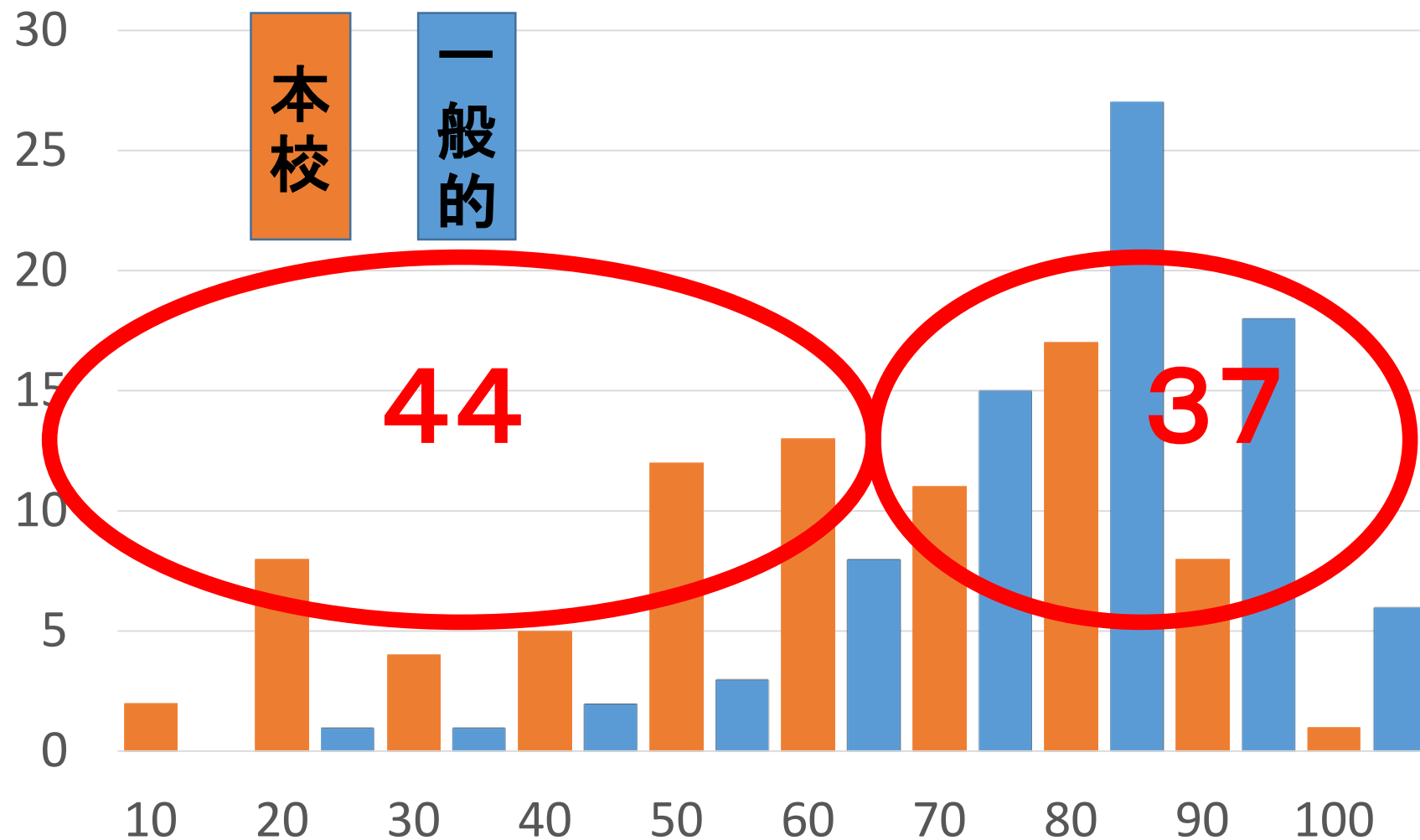
# 各学年国語テスト素点分布

## 小学部4年



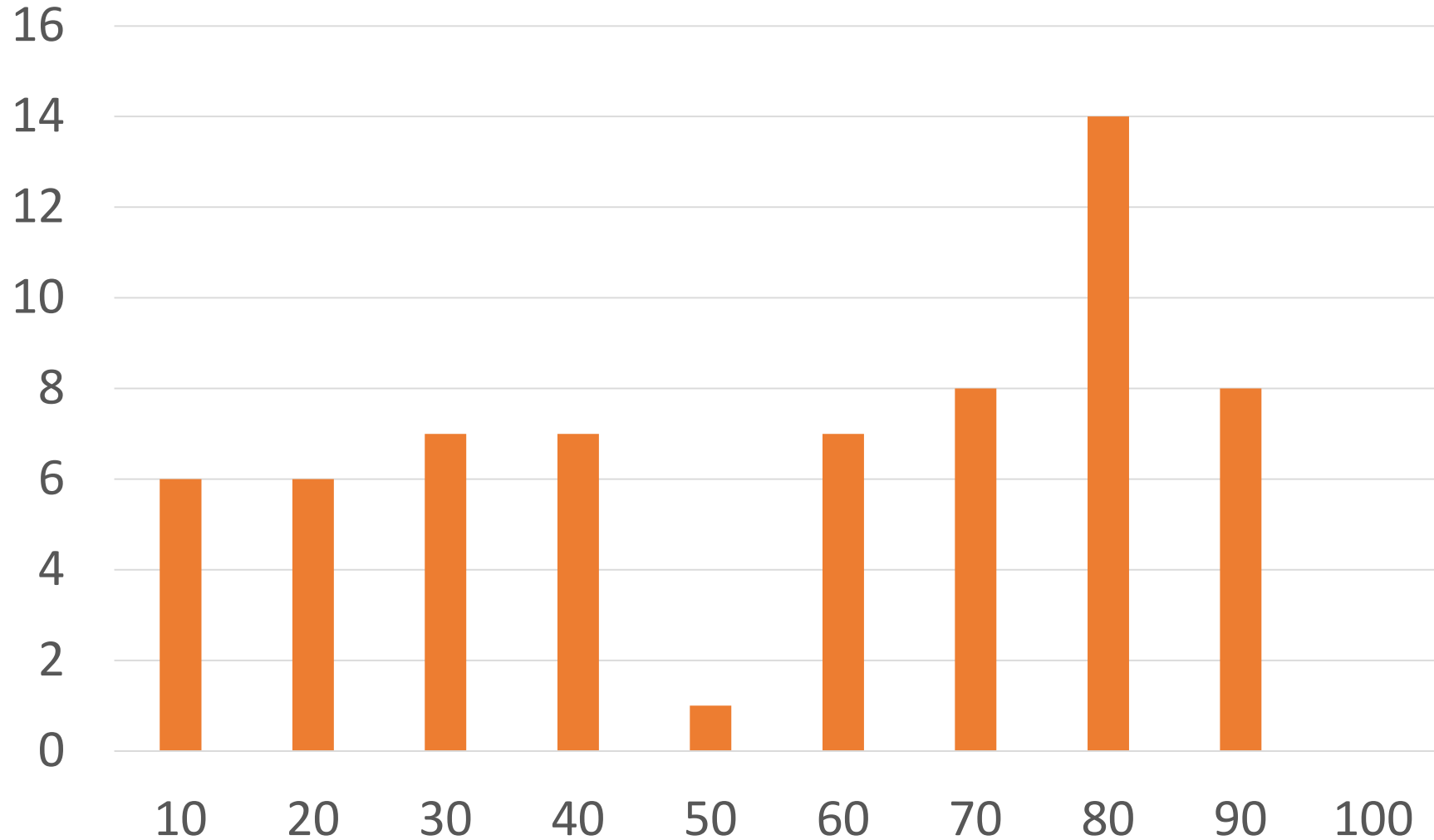
# 各学年国語テスト素点分布

## 4年生テスト結果分析比較



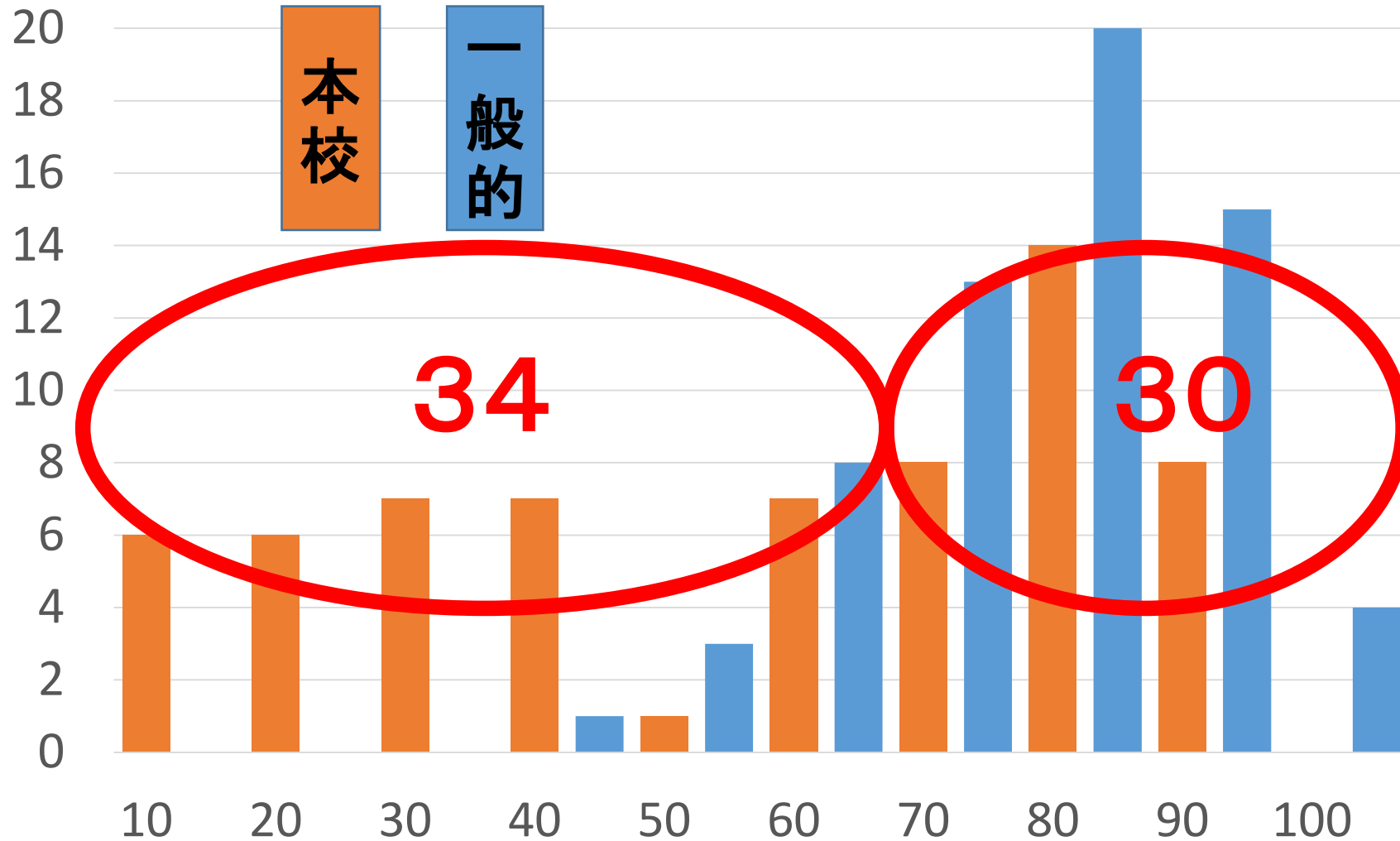
# 各学年国語テスト素点分布

## 小学部5年



# 各学年国語テスト素点分布

## 5年生テスト結果分布比較



# 学校によるクラス分け実施の理由

小5保護者へのアンケート結果から ➡ 過半数が了承

各コースの児童の日本語力にばらつきがみられる

→ 個々にとって適切なコースに入っていない児童がいる

→ 教師にとって指導が難しくなっている

→ クラス編成が困難になる

➡ ばらつきを少なくする

授業等を通して先生が児童の日本語力を適切に把握する

➡ それぞれの児童にふさわしいクラス分け

# 配慮事項

コース決めは学年の先生を中心に学校が行う

読む力(読解力)・話す力・聞く力・書く力・言語力を総合的に判断する(教科書の読み、応答、作文、発表、話し合い、テスト結果他)

保護者(本人)の意向を確認し、希望と異なる場合、説明の場を設ける。(2017年度)

学期ごとのコースの変更を可能とする。



# 小学部6年生でのコース別学習新設

5年生までコース別学習が実施されていた(6年生で実施されていなかった)理由と現状

6年生にもコース別学習を実施する理由

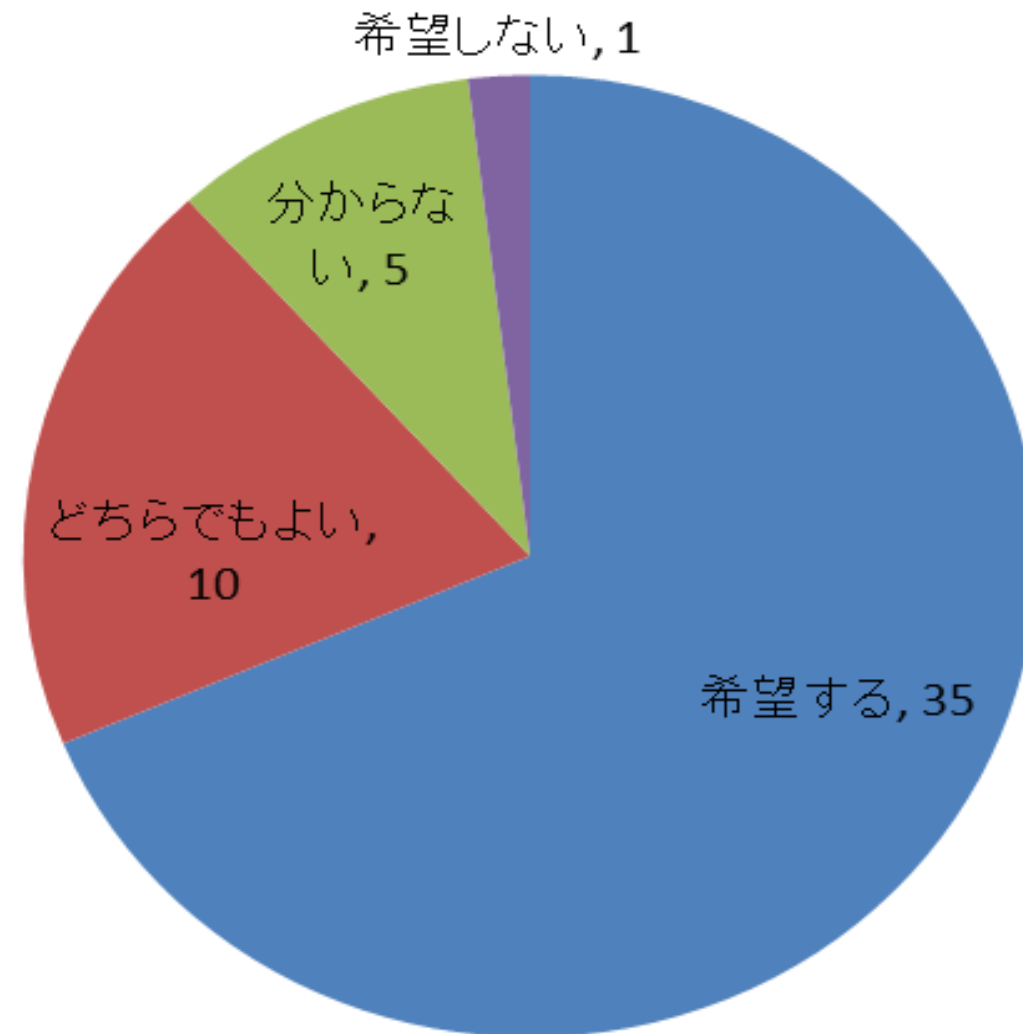
→保護者(児童)の希望(アンケート結果)

→児童の国語力の実態(小5、小6)

→コース別学習の指導体制

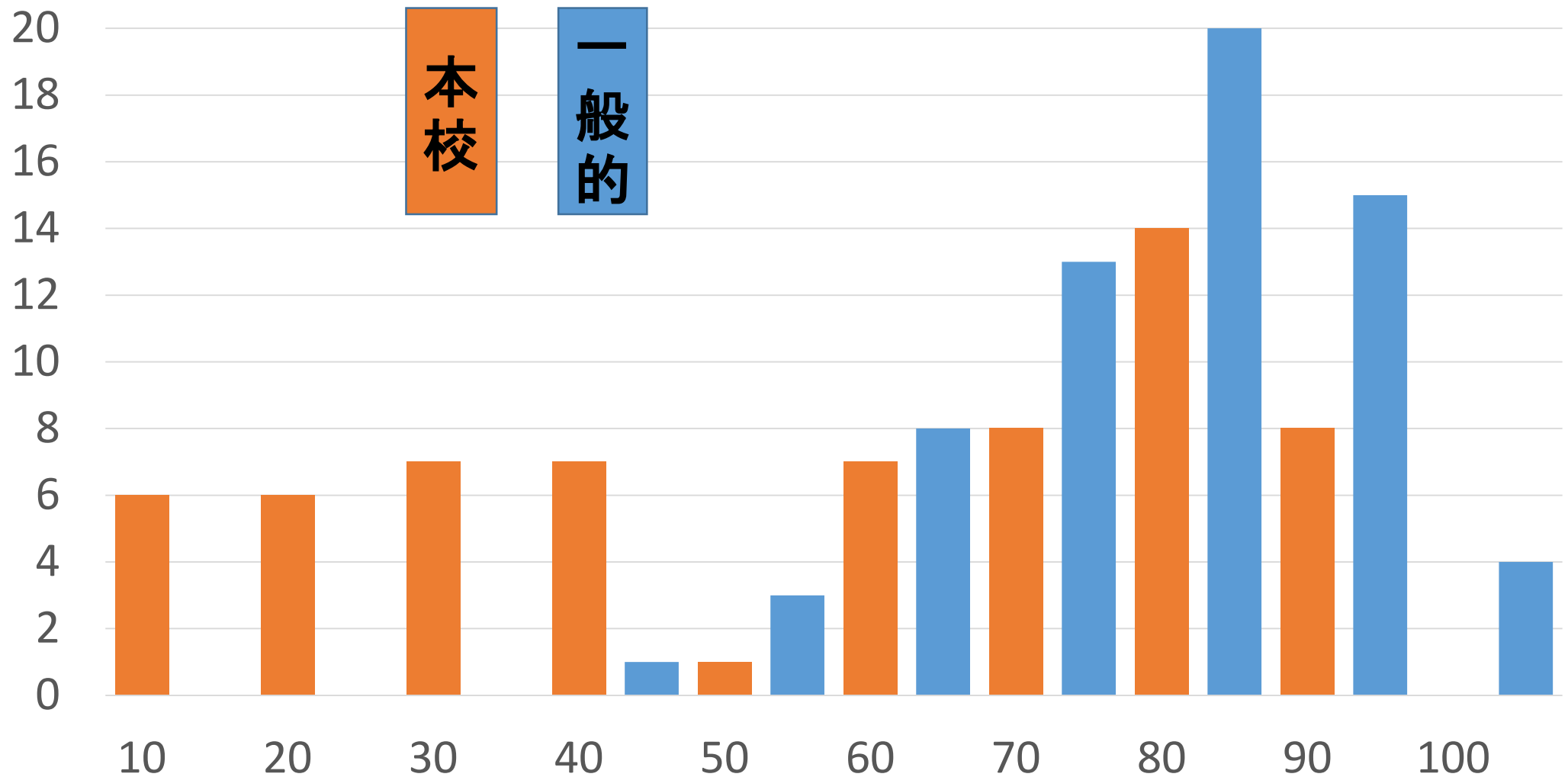
# 6年生でのコース別学習（小5保護者アンケート）

**希望する、どちらでも  
88.4%**



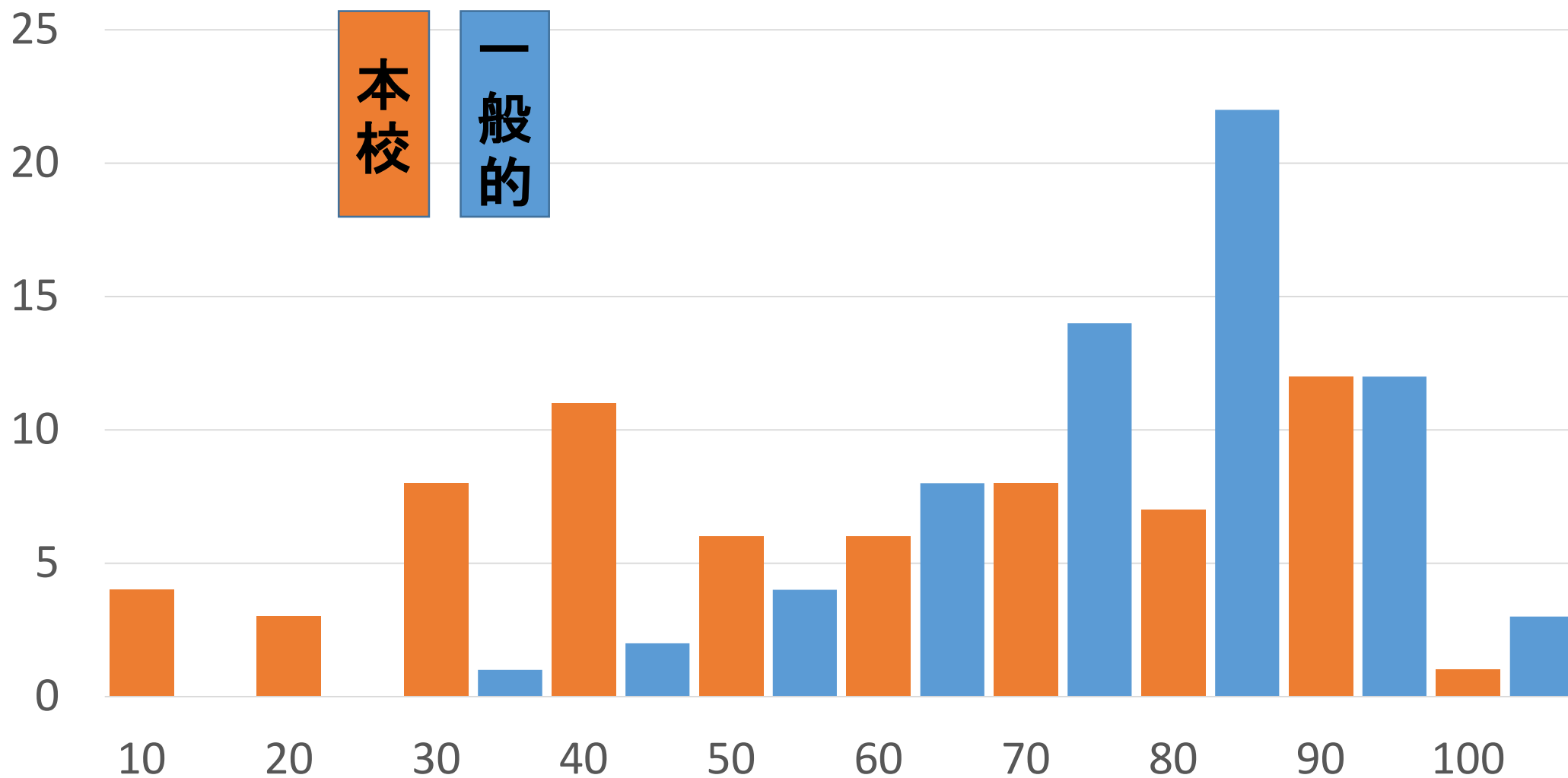
# 各学年国語テスト素点分布

## 5年生テスト結果分布比較



# 各学年国語テスト素点分布

## 6年生テスト結果分布比較



# 小学部6年生でのコース別学習新設

5年生までコース別学習が実施されていた(6年生で実施されていなかった)理由と現状

➡小5までに同等の国語力とならなかった

6年生にもコース別学習を実施する理由

→保護者(児童)の希望(アンケート結果)

➡コース別学習継続の希望が大多数

→児童の国語力の実態(小5、小6)

➡コース別学習実施が望ましい

→コース別学習の指導体制

➡先生の理解が進んでいる